

(様式)

大阪市建設局設計・施工技術連絡会議 議事録

工 事 名	大阪市海老江下水処理場改築更新事業		
会 議 名 称	大阪市建設局設計・施工技術連絡会議（第2回）		
開 催 日 時	令和2年2月17日（月）14：00～16：00		
開 催 場 所	ATCビル I TM棟 11階 第10、11会議室		
出 席 者	発注者	設計者	受注者
	建設局 下水道部下水道課 北部方面管理事務所 管理課	パシフィックコンサル タantz株式会社	海老江ウォーターリンク 株式会社
議題・議事の内容			
<p>① 事業概要 (説明内容) ・設計変更事案への対応の検証・妥当性の精査について</p> <p>② 計画変更要因に対する追加対策 (説明内容) (1) 事業概要について (2) 事案内容について</p> <p>本事業は、設計、施工、維持管理が一体となったDBO事業であり、入札説明書等（事業契約書及び要求水準書）において、市側のリスクを明文化している。</p> <p>施工を進める段階において、市側のリスクに対する事案が発生しており、その影響要因に対応する対策方法の検討結果により総事業費が増加する状況となっているため、「大阪市設計・施工技術連絡会議試行要領」第4条第1項の(1)の設計条件及び設計内容について、当該現場の特殊性等から説明・確認を行う必要がある場合に該当することから、連絡会構成員にて、下記の事案の妥当性および精査を行った。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 汚染土処分区分変更（ポンプ棟及び2系）2) 2-3系間道路横断部の埋設物の吊防護および土留め欠損防護等3) 地中障害物処分（3系水処理施設以外の汚染土先行撤去部、3系構造物本掘削部）4) 地中障害物撤去方法（3系基礎杭打設部）5) 地中障害物撤去方法（2-3系間道路横断部、2系敷地内）7) 環境モニタリング項目・数量の変更8) 黄リンの処理9) 追加土壌調査（1系および2系敷地、3系敷地境界）			

(主な意見)

- ・第1回設計・施工技術連絡会議と同様、地中障害物処分、地中障害物撤去方法は、入札時において予見不可能なものであり、民間事業者が地中障害物のリスクを負担することは適切ではない。契約書第4条第5項に、予見不可能な場合は市がリスクを負担することと規定している。
- ・その他の設計変更項目についても、当初から市側のリスクとして見込んでいた内容であり、設計変更を行うことは妥当である。
- ・各変更事案に対する工法変更や追加対策等については、技術的に妥当な対応である。
- ・本会議は建設局ホームページにて公表するため、透明性も確保されている。